

KENWOOD

エクスターナルメディアコントローラー

KOS-A300

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
本書の読みかた	8

ここを読めば、ひととおり操作できます。

基本操作	10
共通操作	10
基本的なiPodやUSBの曲の聴きかた	12

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

ファンクションコントロール	14
iPodやUSBの曲を聴く	18
USBミュージックサーチ	18
iPodミュージックサーチ	18
アルファベットサーチ	19
オールランダム	19
iPodコントロールハンドモード	20
リレーテッドサーチ	20
ドライブセレクト	20

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてありません。

入出力設定	21
インプットレベル調整	21
トランスミッター周波数設定	21

ディスプレイコントロール	22
ディスプレイタイプ設定	22
テキスト表示設定	22
イルミネーション色設定	23
AUXネームセット	24

よく使う操作をメモリーする	25
FAVORITEプリセットメモリー	25
FAVORITEプリセットメモリーの呼び出し	25
FAVORITEプリセットメモリーの消去	26
FAVORITEメモリーネームセット	26
漢字の入力	27

Bluetoothデバイスの操作	28
ハンズフリーの操作	28
オーディオプレーヤーの操作	28
Bluetoothの機能操作	28

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? オーディオファイル	29
オーディオファイル	29
ケンウッドミュージックエディター	29
iPodについて	29
Help? 故障かな?と思ったら	30
Help? 用語集	31
共通	31
サウンドエフェクト	31
ファンクション	32
Help? エラー表示	33

取り付け時のご注意	34
付属品	37
接続	38
取り付け	40
仕様一覧	44
保証とアフターサービス	46

安全上のご注意
使用上のご注意
本書の読みかた

基本操作

ファンクションコントロール

iPod や USB の曲を聴く

入出力設定

ディスプレイコントロール

よく使う操作をメモリーする
(FAVORITE コントロール)

Bluetooth でデバイスの操作

Help?

取り付け時のご注意
付属品
接続
取り付け
仕様一覧

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

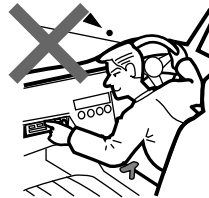
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

USB デバイスは運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

使用上のご注意

USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

●
本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

●
本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p29)を参照してください。

●
USBケーブルは付属品を使用してください。USB規格以外のケーブルを使用した場合やケーブルの総延長が5m以上になった場合は、正常にプレイできない場合があります。

●
USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

本機に接続できるBluetoothユニット(別売品)について

本機には以下のBluetoothユニットが接続できます。

- KCA-BT200

ただし、KCA-BT200の接続には変換ケーブルKNA-BT909(別売品)が必要です。

お手入れについて

本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもの拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。

このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを操作する

ノブの操作を下の図で表します。



真ん中を押す



回す



上下へ



左右へ



回すまたは上下左右へ



回すまたは左右へ

▼: 次の段に続きます。

●: ここで終わります。

AUXネームセット

AUXソースに切り替えたときに表示される名前を設定します。

1 AUXソースにします



AUX

2 [FNC]ボタンを押して「MENU」

「Name Set」と選択します

● 選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p.14)を参照してください。

3 ネームセットを開始します



AUX SRC AUX

現在のAUX名前が表示されるまで押し続けます。

4 AUXネームを選択します



コントロールノブを回すと、次の順で切り替わります。

表示

● AUX

● DVD

● PORTABLE

● GAME

● VIDEO

● TV

5 [FNC]ボタンを押して終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUX名前は「AUX」に戻ります。

上記の表記例は、実際の操作とは異なります。


ディスプレイ表示

この表示になるまで上の操作を行います。

ファンクションコントロール

ファンクションコントロールモードにして、操作するアイコンを選択することを表します。
操作方法は「ファンクションコントロール」(p14)をご覧ください。

1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを1秒(2秒または3秒)以上押します。
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンまたはノブを押し続けることを表しています。
左記では1秒間押すことを示しています。
押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

その他のマーク



ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

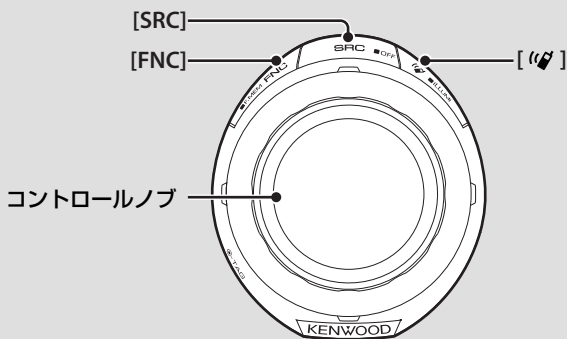
「Made for iPod」とは、iPod専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

基本操作

共通操作



電源をオン/オフします

[SRC] ボタンを押すと、電源がオンになります。
1 秒以上押し続けると、電源がオフになります。

トランスミッター機能を使用して音声を聞く場合

車両ラジオの周波数をFM88.3MHzにします。
トランスミッターの周波数は「ファンクションコントロール」(p14)の“TransmissionFREQ”で変更できます。

ラインアウト機能を使用して音声を聞く場合

車両オーディオのソースを“AUX”に切り替えます。

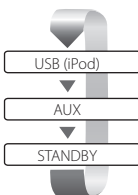
ソースを切り替えます

ソースセレクトモード1 (初期設定)

1. [SRC] ボタンを押してダイレクト選択モードにします。
2. コントロールノブを回してソースアイコンを選択します。
3. コントロールノブを押して決定します。

ソースセレクトモード2

[SRC] ボタンを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします。(p18)


内部AUXに入力されたサウンドを出力します。

何もプレイされませんが、時計などは表示されます。



- ソースセレクトモード1、2の切り替えは「ファンクションコントロール」(p14)の“SRC Select”項目で設定します。
- iPodをiPodケーブルKCA-iP101 (別売品)で接続していると、“USB”表示は認識後に“iPod”になります。iPodについては「iPodについて」(p29)をご覧ください。

イルミネーション切り替え

[] ボタンを押しながらコントロールノブを回すと、コントローラーとディスプレイのイルミネーション色が変わります。

色は10色とスキャン（10の色が5秒ごとに切り替わります）の中から選択できます。



- ディスプレイの色をコントローラーとは異なるイルミネーション色にしたい場合は、「ファンクションコントロール」(p14) の "Illumi SYNC" を "OFF" に設定してください。「ファンクションコントロール」(p14) の "Color Select" でディスプレイのイルミネーション色の設定が可能になります。
- 「ファンクションコントロール」(p14) の "Illumi SYNC" を "OFF" に設定すると、再び "ON" にした直後はディスプレイの色は変化しません。次回コントローラーのイルミネーション色を設定時に変化します。

ファンクションコントロール

[FNC] ボタンを押すと、ファンクションコントロールモードになり、各機能を設定します。操作方法は「ファンクションコントロール」(p14) をご覧ください。

FAVORITE (フェイバリット) コントロール

[FNC] ボタンで、iPodのプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順をメモリーしたり、メモリーした操作を呼び出せます。

操作方法は「よく使う操作をメモリーする (FAVORITE コントロール)」(p25) をご覧ください。

設定できる項目

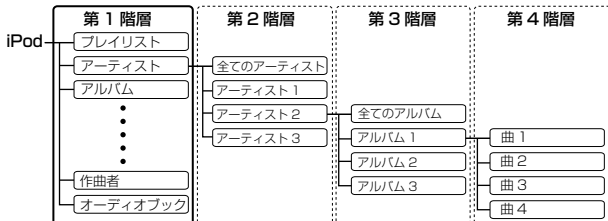
次の項目が設定できます。

設定項目

iPod	プレイリスト、アーティストの一覧表示など
ファンクション コントロール	ファンクションコントロールの設定項目 (p14)

iPodの設定について

お好みの第1階層のリストを登録できます。

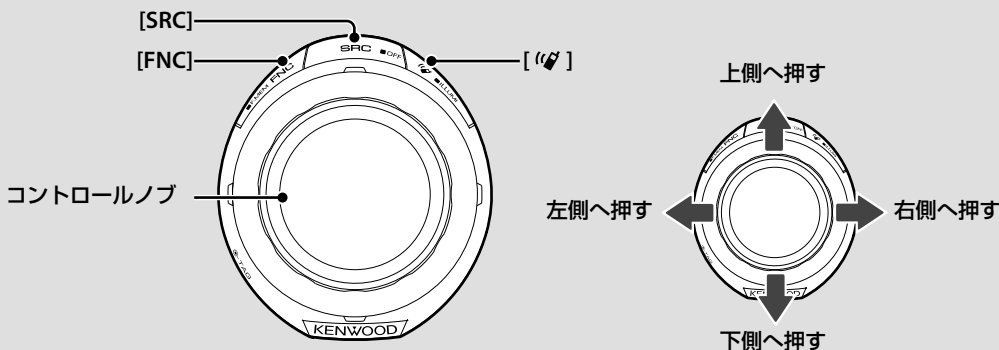


- iPodに曲の追加や削除を行うと、iPodの曲リストが変更されます。このため、第2階層以下をFAVORITE登録していた場合、登録時とは異なるリストが表示されることがあります。iPodの収録曲を変えたときはFAVORITE登録をしないおいてください。



安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

基本的なiPodやUSBの曲の聴きかた



USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします

USBメモリーやiPodなどのUSBデバイスを接続すると、USBデバイスのプレイが始まります。

USBデバイスを取り外します

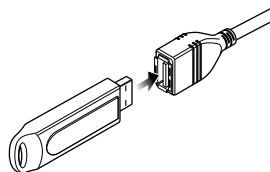
「ファンクションコントロール」(p14)の「RMV」項目を選択し、リムーブモードにしてからUSBデバイスを取り外します。



- リムーブモードにしないでUSBデバイスを取り外すと、USBデバイス内のデータが破損する場合があります。



- USBデバイスがすでに接続されているときには、[SRC]ボタンでUSB/iPodソースに切り替えるとプレイします。ソースの切り替え方法は「ソースを切り替えます」(p10)をご覧ください。
- iPodの接続にはiPodインターフェイスケーブルKCA-iP101(別売品)が必要です。iPodについては「iPodについて」(p29)をご覧ください。
- プレイをストップしたあとで、再びプレイするとストップした曲からプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合でも、USBデバイスの保存内容が変わっていなければ、ストップした曲からプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類、使用できるUSBデバイスの種類や接続方法などの詳細については、「オーディオファイル」(p29)をご覧ください。
- USBデバイスのコネクタは、奥まで確実に差し込んでください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「iPodやUSBの曲を聴く」(p18)をご覧ください。



プレイ/ポーズします

コントロールノブを一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

早送り/早戻しします

コントロールノブを右側へ押し続けると、押している間、曲が早送りされます。

コントロールノブを左側へ押し続けると、押している間、早戻しされます。



- オーディオファイルをプレイしているときは、早送り/早戻し中に音は出ません。

プレイする曲を選びます

コントロールノブを右側へ動かすと、次の曲がプレイされます。

コントロールノブを左側へ動かすと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。



- 曲を素早く探すこともできます。詳しくは「iPodミュージックサーチ」または「USBミュージックサーチ」(p18)をご覧ください。

プレイするフォルダを選びます

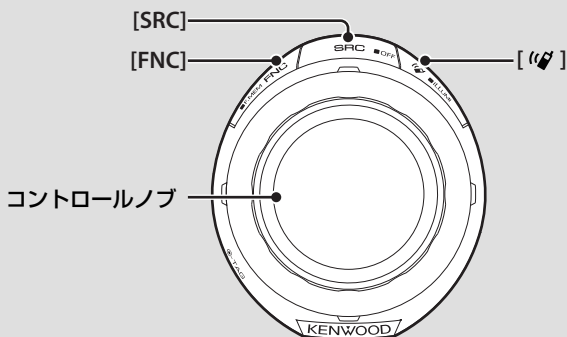
コントロールノブを上側へ押すと、次のフォルダの曲がプレイされます。

コントロールノブを下側へ押すと、前のフォルダの曲がプレイされます。



- iPodおよびMusic Editorメディアでは、ミュージックサーチ (p18) を行った後に使用できます。

ファンクションコントロール



ファンクションコントロール

- [FNC]ボタンを押して、ファンクションコントロールモードにします。
- コントロールノブを左右に押して、ファンクショングループを選択します。
左側へ押すとプリファレンス項目("MENU"、"SETUP")の設定ができます。
右側へ押すと現在のソース機能項目のON/OFF設定ができます。
- コントロールノブと[FNC]ボタンで設定する項目を選択します。

動作	操作方法
項目を移動する	コントロールノブを回す。
項目を選択する	コントロールノブを押す。
前の項目に戻る	[FNC]ボタンを押す。 または、項目リストの最後の "Return"/を選択する。

プリファレンス項目には、次の項目があります。

表示	操作方法
"FAV"	Favorite呼び出しモードになります。
"MENU"	環境の設定ができます。16ページの表をご覧ください。
"SETUP"	ディスプレイの設定ができます。17ページの表をご覧ください。
"RMV"	USBリムーブモードになります。17ページの表をご覧ください。
—	ソース機能の設定ができます。16ページの表をご覧ください。

- 16ページからの表の「操作」を参照して、コントロールノブを操作して設定します。

- : コントロールノブを押します。
- : コントロールノブを左右に動かします。
- : コントロールノブを回します。
- : コントロールノブを1秒以上押して設定モードにします。
- SB** : スタンバイ中に設定できます。
- SB^{OFF}** : スタンバイ以外の際に設定できます。
- USB** : USBのオーディオファイルソース中に設定できます。
- iPod** : iPodソース中に設定できます。(iPodを接続したときのUSBソース)
- KME** : Music Editorメディアをプレイ中に設定できます。
- AUX** : AUXソース中に設定できます。
- : すべてのソース中に設定できます。

- [FNC]ボタンを1回押すごとに、ひとつ前の階層に戻ります。



- ソース機能をONに設定したときは、各アイテム行頭の"□"に"✓"が付きます。

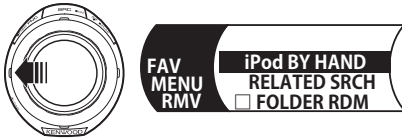
ディスプレイのイルミネーションを設定する場合の操作例

“MENU”(メニュー)から“llumi SYNC”項目を選択します。

1 ファンクションコントロールモードにします

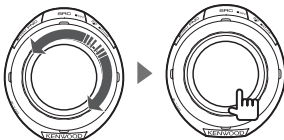


2 プリファレンス項目を選択します



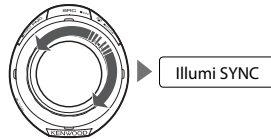
コントロールノブを左側に押して、プリファレンス項目を選びます。

3 “MENU” 項目を選択します



コントロールノブを回して“MENU”を選びます。

4 “llumi SYNC” 項目を選択します



コントロールノブを回して“llumi SYNC”を選び、コントロールノブで決定します。

ファンクションコントロール

ソース機能項目で設定する機能は、次の項目があります。

表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
iPod BY HAND	ON/OFF*		iPodの操作をiPod本体で行えるようになります。	iPod	20
RELATED SRCH	—		リレーテッドサーチが始まります。	iPod	20
FILE SCAN	ON/OFF*		現在のフォルダやジャンルなどのオーディオファイルの最初の10秒間を次々にプレイします。	USB KME	—
FOLDER RDM	ON/OFF*		現在のフォルダやジャンルなどのオーディオファイルの中からランダムにプレイします。	iPod USB KME	—
ALL RANDOM	ON/OFF*		iPod内のすべての曲をランダムな順に再生します。	iPod USB	19
FILE REPEAT	ON/OFF*		現在のオーディオファイルを繰り返しプレイします。	iPod USB KME	—
FOLDER REP	ON/OFF*		現在のフォルダの中のオーディオファイルを繰り返しプレイします。	USB	—

プリファレンス項目で設定する機能は、次の項目があります。

種類	表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
FAV		—		FAVORITEプリセットメモリーの呼び出しモードになります。	—	25
MENU	TransmissionFREQ	87.9~89.9		FMトランスミッターの周波数を設定します。	SB	21
	ModulationLV	1~3		FMトランスミッターのモジュレーションレベルを設定します。	SB	*2
	Input Level ADJ	-8~0 AUX: -8~+8		入力レベルを調整します。	SB ⁹⁹	—
	SRC Select	1*/2		ソースの選択方法を設定します。	SB	*2
	Skip Search	0.5%*/ 1%/ 5%/ 10%		「iPodミュージックサーチ」または「USBミュージックサーチ」(p18)でスキップする割合を設定します。	iPod KME	*2
	Power Off Mode*1	1*/2		電源がオフ中に着信すると自動的に電源がオンになります。	SB	*2
	Device Regist*1	—		Bluetoothデバイスの登録（ペアリング）をします。	SB	28
	SPCL DVC Select*1	—		通常の登録（ペアリング）ができないスペシャルデバイスを登録します。	SB	28
	Phone Selection*1	—		登録してある複数のBluetoothデバイスから、使用するデバイスを選択します。	SB	28
	Audio Selection*1	—		登録してある複数のBluetoothオーディオデバイスから、使用するデバイスを選択します。	SB	28
	Device Delete*1	—		登録してあるBluetoothデバイスを削除します。	SB	28
	BT DVC Status*1	—		Bluetoothデバイスの接続状態や携帯電話機の電波状態、電池の残量を表示します。	—	28
	PIN Code Edit*1	—		Bluetoothデバイス側から本機を登録する際に必要なPINコードを設定します。	SB	28

種類	表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
	Auto Answer*1	OFF/ 0s~8s*~99s		着信時に自動的に応答する時間を設定します。	SB	—
	SP Select*1	All/Left/Right		受話音声を出力するスピーカーを設定します。	SB	—
	Call Beep*1	OFF/ON*		着信音をスピーカーから出力します。	SB	—
	Beep Level*1	1~5		スピーカーから出力される着信音量を設定します。	—	—
	Beep Pattern*1	1~4		スピーカーから出力される着信音のパターンを設定します。	—	—
	BT F/W Update*1	—		Bluetoothファームウェアのバージョンアップを表示します。	SB	—
	Illumi SYNC	OFF/ON*		ディスプレイのイルミネーション色をコントローラーのイルミネーション色と同期させます。	—	11
	Display	OFF/ON*		操作しないときは、表示部を消します。	—	*2
	DISP DIM	OFF/AUTO*/ MNAL1/ MNAL2		車両のライトスイッチに連動して表示部を減光するか、常時減光するかを設定します。	SB	*2
	Contrast	1 — 5* — 10		ディスプレイのコントラストを調整します。	SB	—
	DISP N/P	POS11/2/ NEGA1/2		ディスプレイの表示タイプをネガとポジから選択します。	SB	*2
	DISP V Flip	OFF*/ON		ディスプレイを目の位置より高い場所に取り付けた場合に、表示を180度反転させます。	SB	—
	Supreme	OFF/ON*		Supreme機能のオン/オフを設定します。	USB KME	*2
	Name Set	—		AUXソースに名前を付けます。	AUX	24
	Scroll	Auto*/Manual		テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	—	—
	Favorite Delete	ALL/1 — 6		FAVORITEプリセットでメモリーした設定を消去します。	SB	26
	Built in AUX	OFF/ON*		ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	SB	—
	SYS F/W VER	—		ファームウェアのバージョンを表示します。	—	—
RMV		—		USBリムーブモードになります。	SB	12
SETUP	Display Select	Type Select DISP TYPE [A] — [B]		ディスプレイタイプを設定します。	—	22
		Side Select 3タイプ		サイドアイコン表示を設定します。	—	—
		Text Select —		テキスト表示を設定します。	—	22
		Color Select Variable Scan*/ Color 1 — 10/ User		ディスプレイのイルミネーション色を設定します。 *Illumi SYNC*がOFF*のときに設定が可能です。	—	23

* お買い上げ時の設定状態を示します。

*1 Bluetoothユニット「KCA-BT200」（別売品）を接続したときのみ設定できます。

*2 項目の詳細については「Help? 用語集」(p32)をご覧ください。

iPodやUSBの曲を聴く

iPodやUSBデバイスに収録されたオーディオファイルを本機でいろいろな機能を使ってプレイできます。



- iPodやUSBの基本的な聴きかたは「基本的なiPodやUSBの曲の聴きかた」(p12)をご覧ください。

USBミュージックサーチ

プレイ中のドライブやメディアから聴きたい曲を探します。

1 ミュージックサーチモードにします



2 聴きたい曲を探してプレイします



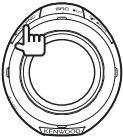
オーディオファイルの操作方法

動作	操作
選択フォルダ/ファイルを移動する	コントロールノブを回す。または、コントロールノブを上下に押す。
スキップサーチ*	コントロールノブを上下に押す。
項目の決定する	コントロールノブを押す。
フォルダ/ファイルを選択する	コントロールノブを押す。または、コントロールノブを右に押す。
前のフォルダに戻る	コントロールノブを左に押す。
最初のフォルダ(ルート)に戻る	コントロールノブを左に1秒以上押す。

フォルダ名の横に“◀”や“▶”が表示されている場合は、そのフォルダの前や後にもフォルダがあることを示しています。

ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最初に“♪”が表示されます。

ミュージックサーチを中止するときは…



- ランダムプレイ中は、ミュージックサーチを行えません。
- *1 スキップサーチ (Music Editorメディアのみ) : スキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。割合は「ファンクションコントロール」(p14)の“Skip Search”項目で設定します。また、3秒以上押し続けると設定に関係なく10%でスキップします。

iPodミュージックサーチ

iPod中の聴きたい曲を探します。

1 ミュージックサーチモードにします



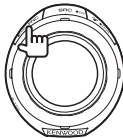
2 聴きたい曲を探してプレイします



動作	操作
項目を移動する	コントロールノブを回す。
スキップサーチ*1	コントロールノブを左右に押す。
項目の決定する	コントロールノブを押す。
前の項目に戻る	コントロールノブを上を押す。
最初の項目に戻る	コントロールノブを上を1秒以上押す。
イニシャルで検索する	コントロールノブを下に押す。詳しくは「アルファベットサーチ」(次ページ)を参照してください。

現在表示している項目が、全体のどのぐらいの位置にあるかを、表示部右端のスクロールバーで表示します。

ミュージックサーチを中止するときは…





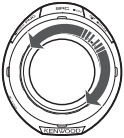
- *1 スキップサーチ：スキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。割合は「ファンクションコントロール」(p14) の「Skip Search」項目で設定します。また、3秒以上押し続けると設定に関係なく10%でスキップします。
- 曲名などで表示できない文字は“ ”(空白)となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、ブラウズ項目名と数字で表示します。

表示	表示
プレイリスト	"PLIST***"
アーティスト	"ART***"
アルバム	"ALB***"
曲名やファイル名	"PRGM***"
ポッドキャスト	"PDCT***"
ジャンル	"GEN***"
コンポーザー (作曲者)	"COM***"

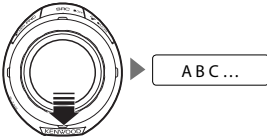
アルファベットサーチ (iPodのみ)

現在選択しているブラウズ項目内(アーティストやアルバムなど)のリストからアルファベットで選択できます。

1 ミュージックサーチモードにします



2 アルファベットサーチモードにします



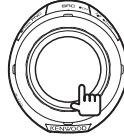
現在のブラウズ項目でアルファベットサーチできない場合は表示が切り替わりません。

3 検索するイニシャルを選択します



動作	操作
文字を移動する	コントロールノブを回す。 または、コントロールノブを左右に押す。
表示行を移動する	コントロールノブを上下に押す。
アルファベットサーチモードを中止する	[FNC]ボタンを押す。

4 イニシャルを決定します



検索を開始します。検索が終わると選択した文字位置でミュージックサーチモードに戻ります。



- アルファベットサーチの検索時間は、iPod内の曲数やフォルダ構造によって長くなる場合があります。
- アルファベットサーチのイニシャル選択では、“*”は記号を、“1”は数字を検索します。
- アルファベットサーチでは、最初の文字が冠詞“a”、“an”、“the”で始まる場合は、冠詞を除いて検索します。
例えば、“The artist”の場合は“artist”で検索されます。

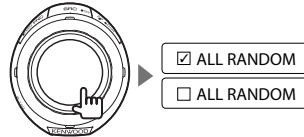
オールランダム

すべての曲をランダムな順に再生します。

1 [FNC]ボタンを押し▶ “ALL RANDOM”を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

2 オールランダムモードを設定します



押すたびにオールランダムがオン/オフされます。



- ランダムプレイ中は、コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- iPod内の曲数やフォルダ構造によって、オールランダム機能がオンするまでの時間が長くなる場合があります。
- オールランダム機能をオンすると、iPodのブラウズ項目がソングに変更されます。オールランダム機能をオフしてもブラウズ項目はソングのままとなります。

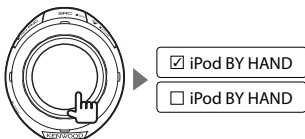
iPodコントロールハンドモード (iPodのみ)

iPodの操作をiPod本体で行います。

1 [FNC]ボタンを押し ▶ “iPod BY HAND” を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

2 iPodコントロールモードを設定します



押すたびにiPodコントロールハンドモードがオン/オフされます。



- ハンドモードをオンにすると、プレイ時は、ポーズになります。
- iPodコントロールハンドモード中は、曲情報などを表示できないため、「iPod by HAND Mode」と表示されます。
- 接続したiPodがiPodコントロールハンド機能に対応している場合に操作できます。接続したiPodが対応していない場合は、設定項目が表示されません。

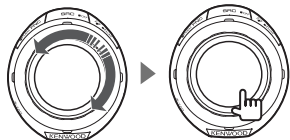
リレーテッドサーチ (iPodのみ)

再生中の曲のアーティストの曲や同じジャンルの曲などを抽出して表示します。

1 [FNC]ボタンを押し ▶ “RELATED SRCH” を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

2 ブラウズ項目を選択します



表示	抽出曲
“Artist”	同じアーティストのアルバムを表示します。
“Album”	再生中の曲が属するアルバムの曲を表示します。
“Genre”	同じジャンルのアーティストを表示します。
“Composer”	同じ作曲者の曲が収録されているアルバムを表示します。

3 曲を探します

動作	操作
項目を移動する	コントロールノブを回す。
項目の決定をする	コントロールノブを押す。
最初の項目に戻る	コントロールノブを上にも1秒以上押す。

リレーテッドサーチを中止するときは...

[FNC]ボタンを押します



- プレイ中の曲にブラウズ項目の情報がない場合や抽出できる曲がない場合は“Not Found”と表示されます。

ドライブセレクト

マルチカードリーダーにセットされているメモリーカードを選択します。

1 プレイを一時停止します



2 ドライブを選択します



上に動かすと次のドライブが選択され、下に動かすと手前のドライブが選択されます。

3 ドライブを決定します



- 最大4スロットのマルチカードリーダーに対応しています。ただし、複合型のカードリーダー(マウスにカードリーダーが付いている機器など)では使用できない場合があります。
- 接続済みのマルチカードリーダーに、メモリーカードを挿入しても認識されません。カードリーダーにメモリーカードを挿入してから接続してください。
- カードリーダーに同じ種類のメモリーカードが複数挿入されている場合、認識されるメモリーカードは1枚のみです。

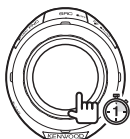
入出力設定

USB デバイスの入力レベルや FM トランスミッターの変調周波数を設定します。

インプットレベル調整

USB デバイスやAUX入力のレベルを調整します。

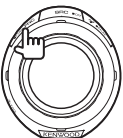
- 1 [FNC]ボタンを押し▶ “Input Level ADJ” を選択します
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。
- 2 インプットレベル調整モードに入ります



- 3 インプットレベルの調整をします



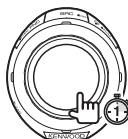
- 4 インプットレベル調整モードを終了します



トランスミッター周波数設定

トランスミッターの周波数を設定します。

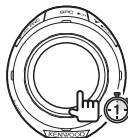
- 1 [FNC]ボタンを押し▶ “TransmissionFREQ” を選択します
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。
- 2 トランスミッター周波数設定モードに入ります



- 3 トランスミッター周波数を選択します



- 4 トランスミッター周波数を決定します



トランスミッター周波数に “*” が表示されるまで押し続けます。

- 5 トランスミッター周波数設定モードを終了します



ディスプレイコントロール

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイタイプ設定

ディスプレイの表示タイプを設定します。

- 1 [FNC]ボタンを押し▶“SETUP”▶“Display Select”▶“Type Select”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

- 2 ディスプレイタイプを切り替えます



次の順に切り替わります。

アイコン表示	ステータス表示
	テキスト表示
	テキスト表示
	テキスト表示

ディスプレイタイプA
“DISP TYPE [A]”

ムービー表示
テキスト表示

ディスプレイタイプB
“DISP TYPE [B]”

- 3 ディスプレイタイプ設定を終了します



テキスト表示設定

テキスト表示を切り替えます。

- 1 [FNC]ボタンを押し▶“SETUP”▶“Display Select”▶“Text Select”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

- 2 設定する段を選択します
(ディスプレイタイプ A のみ)



設定できる段が変わります。
設定可能な段のテキストが点滅します。

- 3 表示を切り替えます



スタンバイ中

表示	情報
“Source Name”	スタンバイ
“Blank”	何も表示しません

オーディオファイルプレイ中

表示	情報
“Title”	曲タイトル
“Artist”	アーティスト名
“Album”	アルバム名
“Folder Name”	フォルダ名
“File Name”	ファイル名
“P-Time”	ファイル番号+プレイ時間
“Time Bar” *1	時間表示プログレスバー (iPod接続時)
“Blank”	何も表示しません

AUX/AUX EXT中

表示	情報
“Source Name”	AUXネーム
“Blank”	何も表示しません



- *1 DISP TYPE[A]の一番下の行にのみ表示させることができます。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- 表示するタイプや行などにより選べない項目があります。
- iPodのプレイ中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のブラウズ項目に沿った名称が表示されます。

4 テキスト表示設定を終了します



イルミネーション色設定

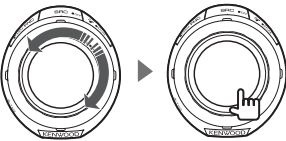
ディスプレイのイルミネーションの色をR(赤)G(緑)B(青)値で調整します。

1 [FNC]ボタンを押し▶“SETUP”▶ “Color Select”を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

2 色を設定します

基本色を選択するには

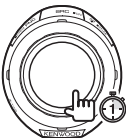


“Variable Scan”、“Color1”～“Color10”、または“User”から選択します。

“User”色を作成するには(RGB別に調整)

“Color1”～“Color10”のときは、オリジナル色を作成できます。作成したオリジナル色は“User”を選択すると呼び出せます。

1. 詳細色調整モードにします

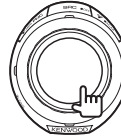


2. 色を設定します

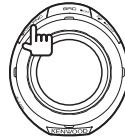


動作	操作
調整する色を選択する (R、G、B)	コントロールノブを左右に押す。
色を調整する (範囲：0～9)	コントロールノブを回す、または上下に押す。
詳細色調整モードを終了する	コントロールノブを押す。

3. 詳細色調整モードを終了します



3 イルミネーション色設定を終了します

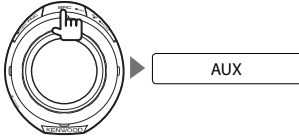


- “Variable Scan”を選択すると色がColor1～10に次々に変わります。スキャンしているときは詳細色の調整はできません。
- ディスプレイのイルミネーション色設定を調整するには次の設定が必要です。
- 「ファンクションコントロール」(p14)の“illumi SYNC”項目を“OFF”

AUXネームセット

AUXソースに切り替えたときに表示される名前を設定します。

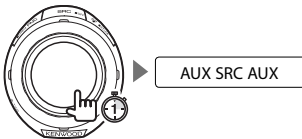
1 AUXソースにします



2 [FNC]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “Name Set” と選択します

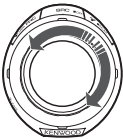
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

3 ネームセットを開始します



現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

4 AUXネームを選択します



コントロールノブを回すと、次の順で切り替わります。

表示

AUX

DVD

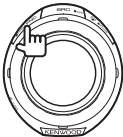
PORTABLE

GAME

VIDEO

TV

5 AUXネームセットを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

よく使う操作をメモリーする(FAVORITE コントロール)

iPod のプレイリスト、アーティストの一覧表示などを選択するまでの操作をメモリーします。

FAVORITEプリセットメモリー

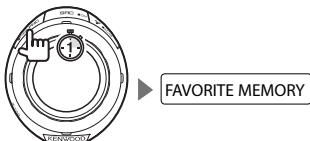
iPod のプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順を、6種類メモリーします。

メモリーできる項目は「FAVORITE (フェイバリット) コントロール」(p11)をご覧ください。

1 お気に入りの項目を表示します

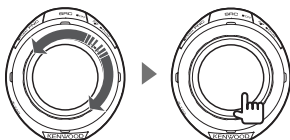
操作が記憶できるときは、ディスプレイの右下に「FAV」マークが表示されます。

2 FAVORITEプリセットモードにします



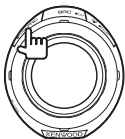
「FAVORITE MEMORY」と表示されるまで押し続けます。

3 メモリーする番号を選び決定します



コントロールノブを回して番号を選択し、ノブを押して決定します。

FAVORITEプリセットメモリーを中止するときは…



- 同じプリセット番号に登録すると上書きされます。
- 「ファンクションコントロール」(p14)の「MENU」の項目も同様の操作でメモリーすることが可能です。ただし、選択中のソースによっては呼び出しをできない場合があります。呼び出し可能なソースについては「ファンクションコントロール」(p14)のソース欄を参照してください。
- USBデバイス(メモリーなど)のフォルダやファイルの選択は設定できません。

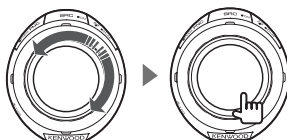
FAVORITEプリセットメモリーの呼び出し

プリセットしたFAVORITEメモリーを呼び出します。

1 スタンバイソース以外にする▶[FNC]ボタンを押し▶“FAV”と選択します

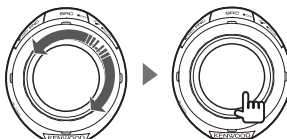
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14)を参照してください。

2 呼び出しするメモリー番号を選び決定します



コントロールノブを回して番号を選び、ノブを押して決定します。

FAVORITEプリセットメモリーの呼び出しを中止するときは…



コントロールノブを回して「Return」を選択し、ノブを押して決定します。



- iPodのときは、プレイリスト/アーティスト/アルバムなどのリスト選択画面を呼び出します。曲は自動的に再生されません。
- 「ファンクションコントロール」(p14)の設定項目を呼び出すときは、あらかじめ「ファンクションコントロール」リストのソース欄のソースを選択しておきます。

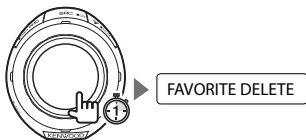
FAVORITEプリセットメモリーの消去

プリセットしたFAVORITEメモリーを消去します。

- 1 スタンバイソースにする▶[FNC]ボタンを押し
▶“MENU”▶“Favorite Delete”と選択
します

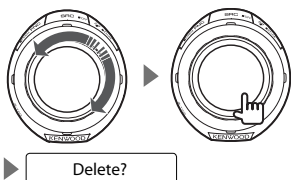
選択のしかたは「ファンクションコントロール」
(p14)を参照してください。

- 2 FAVORITEメモリー消去モードにします



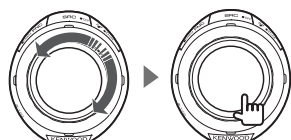
“FAVORITE DELETE”と表示されるまで押し続
けます。

- 3 コントロールノブで消去する番号または
“ALL” (全部)を選び決定します



“Delete?”と表示されます。

- 4 選択したFAVORITEメモリーを消去します



コントロールノブを回して“YES”を選択し、ノ
ブを押して決定します。

▶ Completed

“Completed”と表示されます。

- 5 FAVORITEメモリー消去を終了します



- FAVORITEメモリーがされていないときは、“Favorite:
No memory”と表示されます。

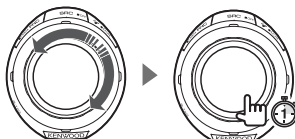
FAVORITEメモリーネームセット

プリセットしたFAVORITEメモリーに名前を付けます。

- 1 スタンバイソースにする▶[FNC]ボタンを押し
▶“FAV”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」
(p14)を参照してください。

- 2 呼び出しするメモリー番号を選びネームセッ
トを開始します

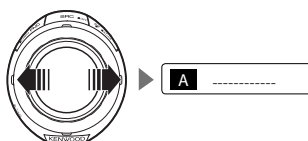


コントロールノブを回して番号を選択し、ノブ
を押し続けます。

▶ FAVORITE NAME SET

“FAVORITE NAME SET”と表示されるまで押
し続けます。

- 3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



- 4 文字を選びます



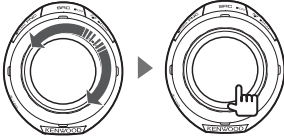
名前は12文字まで登録できます。

コントロールノブを押すたびに、入力できる文
字種が次の順に切り替わります。

表示	文字種
"A"	英大文字
"a"	英小文字
"ア"	カタカナ
"あ"	ひらがな
"1"	数字・記号

5 手順3、4を繰り返して、すべての文字を入力します

- 漢字の入力方法については、「漢字の入力」(p27)をご覧ください。

6 ネームセットを終了します

コントロールノブを回して“ENTER”を選択し、ノブを押して決定します。

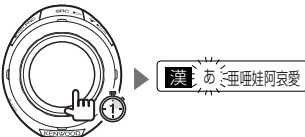
ネームセットを中止するときは…

**漢字の入力**

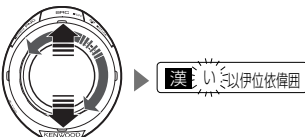
FAVORITEメモリーの名前に漢字を入力して表示させることができます。

1 ネームセットを開始します

「ネームセット」(p26)の手順1～3をご覧ください。

2 漢字入力モードにします

“漢”と表示されるまで押し続けます。

3 漢字の読みを選びます**4** 入力する漢字を選びます

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには…



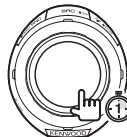
カーソルが漢字の位置にあるときに押すと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力します

カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。

6 手順2～5を繰り返して、すべての漢字を入力します

漢字入力を中止するときは…



Bluetoothデバイスの操作

別売品の Bluetooth ユニット、KCA-BT200 が接続されているときに、本機から Bluetooth デバイスを操作することができます。

ハンズフリーの操作

ハンズフリーの操作はKCA-BT200の取扱説明書を参照してください。

ただし、以下の点でKCA-BT200の取扱説明書の記載内容と相違がありますので、読み替えて操作してください。



- KCA-BT200に記載されている「割り込み通話」の「今の通話を続ける」機能は使用できません。

KCA-BT200取扱説明書の 操作説明	本機の操作
[ATT]ボタンを1秒以上押す。	[]を押す。
かかってきた電話に出る。 [AUD]ボタンを押す。	[]を押す。

KCA-BT200取扱説明書の 表示説明	本機の表示
"V-REC"	"Voice Recognize"
"PRVT"	"PRIVATE"

「電話番号を入力して電話をかける」機能は、リモコンを使用せずに下記の操作で使うことができます。

- 1 []を押して発信モードにします。
- 2 コントロールノブを押してナンバーダイヤルモードを選びます。
"DIAL" 表示を選択します。

- 3 電話番号を入力します。

動作	操作
数字を選ぶ	コントロールノブを上下に押す。
数字を決定する	コントロールノブを右に押す。
数字を削除する	コントロールノブを左に押す。

- 4 コントロールノブを1秒以上押して発信し
ます。

オーディオプレーヤーの操作

オーディオプレーヤーの操作はKCA-BT200の取扱説明書を参照してください。

Bluetoothの機能操作

Bluetoothの機能操作はKCA-BT200の取扱説明書を参照してください。

ただし、以下の点でKCA-BT200の取扱説明書の記載内容と相違がありますので、読み替えて操作してください。

KCA-BT200取扱説明書の 操作説明	本機の表示
"VOICE"	"Voice Tag"
"NAME"	"PB Name Edit"
"TYPE" / "P-TYPE"	"PN Type Edit"
"SMSDL"	"SMS Download"
"INBOX"	"SMS Inbox"

オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma), WAV (.wav)

プレイできるUSBデバイス

USBマストレージクラス、iPodインターフェイスケーブルKCA-iP101 (別売品) で接続されたiPod

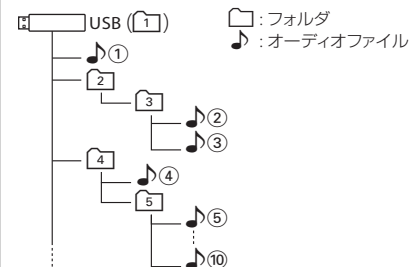
プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット

FAT16, FAT32

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

オーディオファイルをプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディア/デバイスでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofileで公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。



- USBデバイスやiPodを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
- USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

ケンウッドミュージックエディター

- 本機はPCアプリケーション“KENWOOD Music Editor Lite ver1.0”以降に対応しています。
- “KENWOOD Music Editor Lite ver1.0”を使用してデータベースを付加したオーディオファイルを本機で使用すると、「USBミュージックサーチ」使用時にタイトル、アルバム名、アーティスト名などで検索ができます。
- “KENWOOD Music Editor Lite ver1.0”は以下のサイトからダウンロードできます。
www.kenwood.com/faq/
- この取扱説明書では、KENWOOD Music Editorでデータベース情報を付加されたオーディオファイルが収録されたデバイスを“Music Editorメディア”と呼んでいます。
- “KENWOOD Music Editor Lite ver1.0”の詳しい情報などは上記サイトまたはアプリケーションのヘルプを参照してください。

iPodについて

iPodはiPodインターフェイスケーブルKCA-iP101 (別売品) で接続します。ソース選択の“USB”表示は認識後に“iPod”になり、本機からコントロールが可能になります。本書で断りの無い限り「iPod」と呼んでいるのはiPodインターフェイスケーブルKCA-iP101 (別売品) で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。



- 接続可能なiPodは、iPod nano、iPod with Video、iPod classic、iPod touch、iPhoneです。(2009年1月現在) 今後発売になるiPodについては、ホームページをご覧ください。
www.kenwood.com/ipod/kca_ip/
- iPodを接続してプレイすると、最初はiPodでプレイしていた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

共通

? 電源がオンにならない

- ✓ 何らかの理由で本機が正常に動作していない。
- ➡ 車両エンジンスイッチをオフにした後、オンにしてください。

- ✓ 端子の接続が不完全になっている。
- ➡ コントローラーなどの接続を確認してください。

? 音が歪む

- ✓ トランスミッターのモジュレーションレベルが高い。
- ➡ 「ファンクションコントロール」(p14) の "ModulationLevel" を調整してください。

? 車両ラジオの受信感が悪い

- ✓ 本機のトランスミッター機能が影響を及ぼしている。
- ➡ 本機の電源をオフにします。「ファンクションコントロール」(p14) の "Power Off Mode" を "1" に設定しているときは、"2" に設定してください。

USBデバイス

? USBデバイスを認識しない

- ✓ USBコネクタが抜けている。
- ➡ USBデバイスやUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。

? USBデバイスのオーディオファイルの音が出なくなった

- ✓ USBコネクタが抜けている。
- ➡ USBデバイスやUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。

オーディオファイル

? 曲がスキップする

- ✓ 対応していないオーディオファイルをプレイした。
- ➡ www.kenwood.com/audiofile/を参照して、本機でプレイできるオーディオファイルに変換してください。

? 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ➡ —

? ミュージックサーチができない

- ✓ ランダムプレイをオンにしている。
- ➡ ランダムプレイをオフにしてください。(p19)

共通

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p29)をご覧ください。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p29)をご覧ください。

Music Editor メディア (ミュージックエディターメディア)

Music Editor で作成したUSBデバイスです。本機に付属のPCアプリケーションソフトウェアでプレイリスト機能などを追加できます。

WAV (ウェーブ)

米国マイクロソフト社と米国IBM社が開発した音声データフォーマットです。

Windowsでは標準の音声ファイル形式となっています。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるWAV収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p29)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p29)をご覧ください。

サウンドエフェクト

Supreme (サプリーム)

エンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。さらに、エンコード時に欠落した低音とボーカルの音声成分をも補完することで自然な音質を再現します。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、またはWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。

ファンクション

Built in AUX (内蔵 AUX 入力)

AUX端子は、ポータブルオーディオやビデオ/ナビなどの外部機器の音声を本機に入力する端子です。

この機能は、内蔵AUX端子への音声入力をオン/オフします。

この機能をオンにすると、AUX端子から入力された音声は、AUXソースに切り替えることにより、本機で聴くことができます。

また、デュアルゾーン機能を使って、他のソースと同時に出力することもできます。

使用しないときはオフにしておいてください。

Contrast (コントラスト)

ディスプレイのコントラストを調整します。

取り付け位置によってはディスプレイの文字が見えにくい場合があります。このようなときに調整してください。

DISP DIM (ディスプレイ ディマー)

車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

イルミネーションの輝度を下げます。

AUTO：車両のライトスイッチに連動して減光します。

MNAL1：常時減光します。

MNAL2：MNAL1よりもさらに減光します。

OFF：減光しません。

Display (ディスプレイ)

本機の操作を5秒間行わないと、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。

ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

DISP N/P (ディスプレイ反転、ポジ固定)

ディスプレイの表示タイプをネガとポジに切り替えます。また、ライトスイッチに連動して反転することも可能です。

POS1：文字をポジタイプで表示します。

POS2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をポジタイプで表示し、オンにするとネガタイプで表示します。

NEGA 1：文字をネガタイプで表示します。

NEGA 2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をネガタイプで表示し、オンにするとポジタイプで表示します。

Modulation Level (モジュレーションレベル)

FMモジュレーターの出カレベルを調整します。

- 1：音が大きい場合や音が歪む場合に設定します。
- 2：初期設定
- 3：音が小さい場合に設定します。

Power Off Mode (パワーオフモード)

本機の電源がオフ時の本機の状態を設定します。

- 1：本機の電源がオフ中はすべての機能が停止します。
- 2：本機の電源がオフ中でも電話の着信があると、自動的に本機の電源がオンになります。ただし、“2”に設定するときは以下のことに注意してください。

- ACCポジションがない車両では、“2”に設定すると常時電流が流れるため、“1”のままで使用してください。
- チューナーを使用しているときにシークが止まらないときは“1”に設定を戻してください。“2”に設定すると本機内部の回路が働き、受信感度が低下する場合があります。

Scroll (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくともスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくとも表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

Skip Search (スキップ設定)

iPodソース中の「iPodミュージックサーチ」(p18)で項目を移動する際のスキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。

ここではスキップする割合を設定します。

SRC Select (ソースセレクト)

ソース(音源)を選択する操作方法を設定します。

操作方法は「ソースを切り替えます」(p10)をご覧ください。

- 1：ソースアイコンを表示して、コントロールノブでダイレクトに選ぶことができます。
- 2：ソースを順に切り替えて選択します。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Copy Protection :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

Read Error :

- 接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損している。
- ➔ USBデバイスのファイル、フォルダをコピーなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

Unsupported File :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとしてしました。

システムの状態を以下のように表示してお知らせしません。

N/A DEVICE :

- サポートされていないUSBデバイスが接続されました。
- ➔ リムーブモードにしないで取り外してください。サポートされているUSBデバイスについては「Help? オーディオファイル」(p29)を参照してください。
- サポートされていないiPodが接続されました。
- ➔ 接続しているiPodが接続可能なiPodか確認してください。接続可能なiPodについては「Help? オーディオファイル」(p29)を参照してください。

No Device :

USBデバイスが接続されていないときにUSBソースにした。

- ➔ USBソース以外のソースにした後、USBデバイスを接続し、再びUSBソースに切り替えてください。

No Music Data または Error 15 :

接続されているUSBデバイス内には、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

Reading (点滅) :

収録されているデータのチェック中です。

USB Error :

接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。

- ➔ USBデバイスを取り外し、電源を入れなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

iPod Error :

iPodとの接続に不具合が発生しています。

- ➔ iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続しなおしてください。
- ➔ iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

USB REMOVE :

USBデバイスがリムーブモードになっています。USBデバイスが安全に取り外せます。

REMO ERROR :

コントローラーが何らかの原因で動作していない。

- ➔ コントローラーの接続を確認してから、電源を入れなおしてください。

取り付け時のご注意

警告



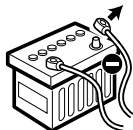
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品は DC12V \ominus アース車専用です。



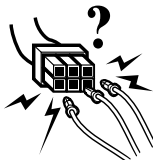
実施

配線作業中は、バッテリーの \ominus 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



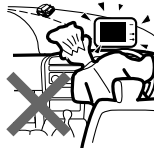
禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

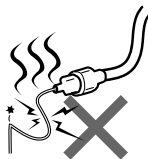
本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（7.5A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウinker、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



注意

本製品を使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。



禁止

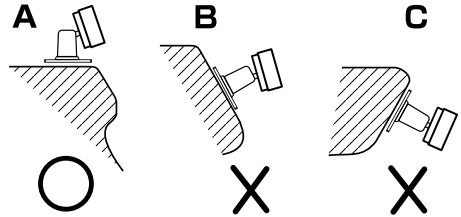
ディスプレイユニットをエアバック装置の上や付近には絶対に設置しないでください。

取り付け場所と洗淨

取り付け場所は、図 A のようにスタンドを水平な面に貼り付けられるような所を選びます。


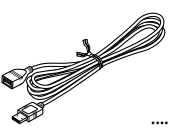


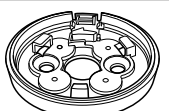






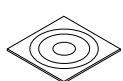


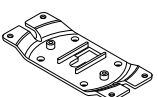
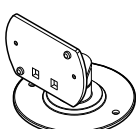
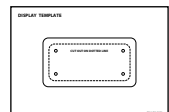
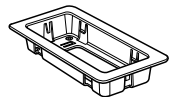
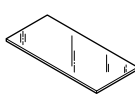

図 B のようにサポート全体が斜めになってしまう所や、図 C のようにディスプレイユニットが下を向いてしまうような所には取り付けられません。

取り付け場所は、中性洗剤をしみ込ませて固く絞った布でよく拭き、ゴミ・油分を取り除きます。また、取り付け場所が乾燥してからディスプレイスタンドを貼り付けてください。



- 両面テープは貼り直したり、粘着部を指でさわったりしないでください。粘着力が弱くなります。
- 取り付け場所の表面温度が低いときは、暖房をかけるなどして温度を高くしてから貼り付けてください。温度が低いところでは粘着力が弱くなります。
- 付属スタンドは本機専用のものです。他のディスプレイには使用しないでください。

付属品

① 1	② 1	③ 2	④ 2
⑤ 1	⑥  ($\varnothing 2 \times 11.5$, 青)2	⑦  ($\varnothing 2 \times 10$, 黒)4	⑧  ($\varnothing 2 \times 9$, 白)2
⑨  ($\varnothing 2 \times 5$, 黒)4	⑩  ($\varnothing 4 \times 16.5$)2	⑪  ($\varnothing 4 \times 4.5$)2	⑫ 1
⑬  ($\varnothing 4 \times 16$)2	⑭ 2	⑮ 1	⑯ 1
⑰ 1	⑱ 1	⑲ 1	⑳  ($\varnothing 3 \times 8$)6



● 付属品の個数表記には予備の部品も含まれています。

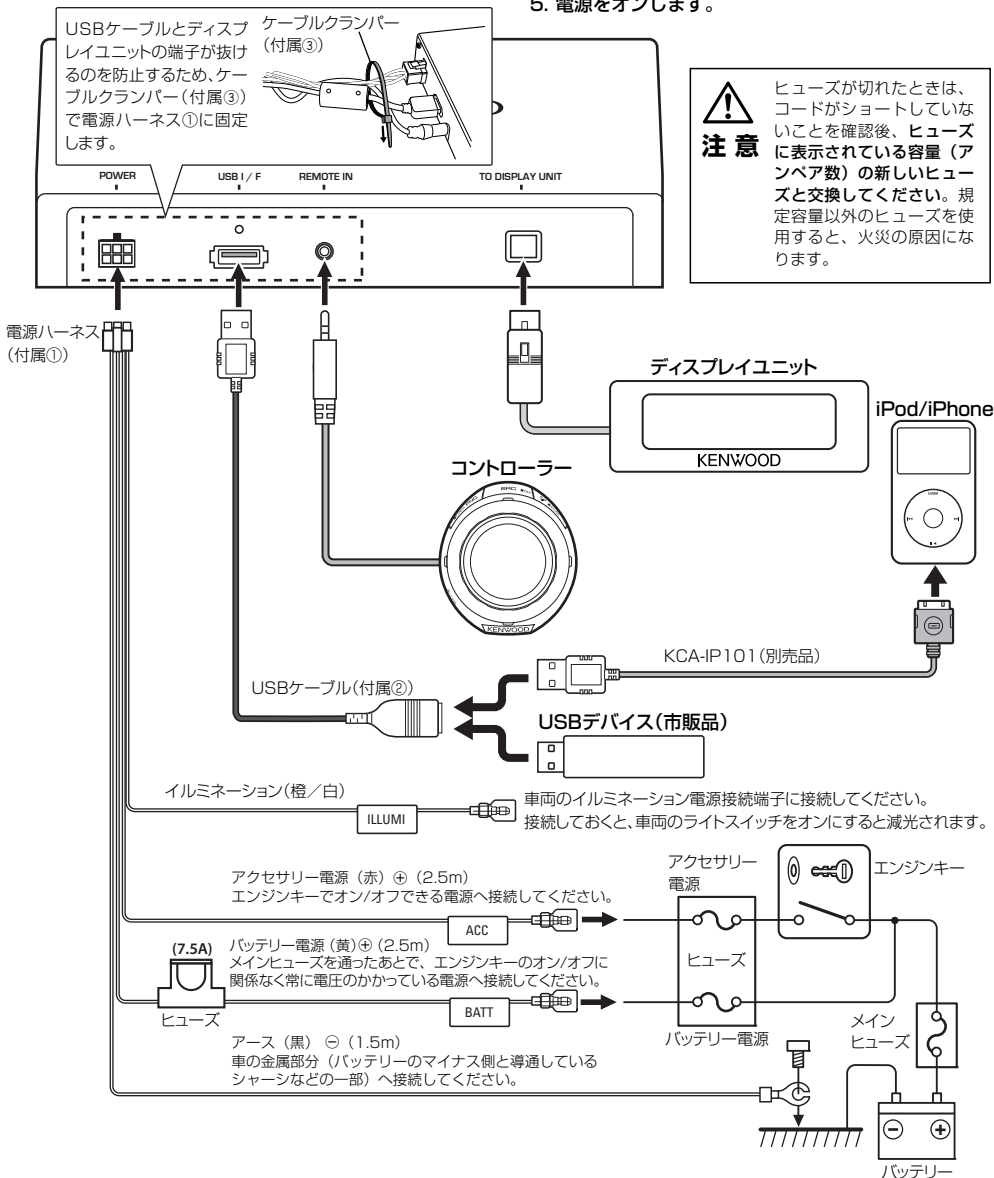
接続



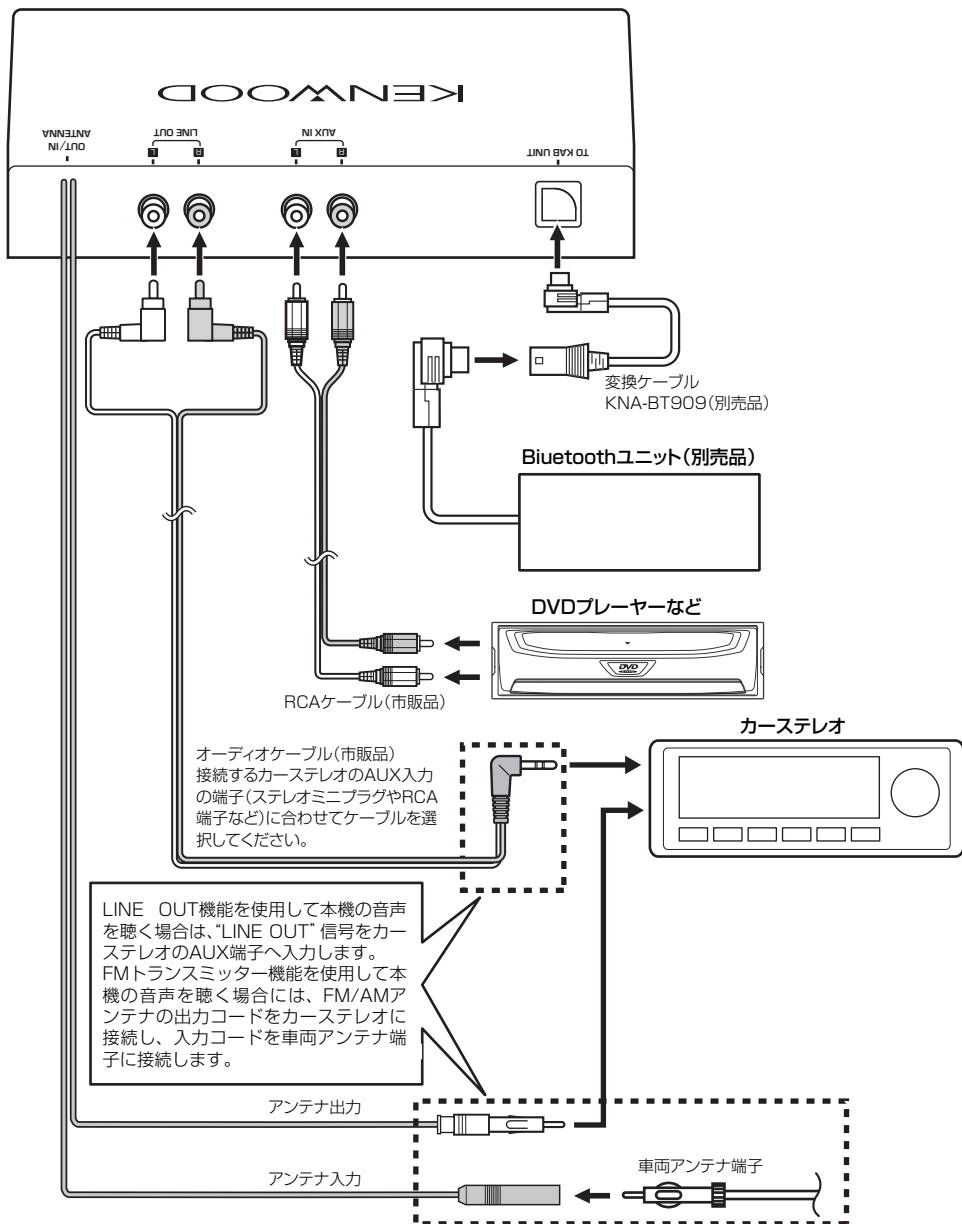
実施 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスをアースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤) の順に接続します。
3. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
4. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
5. 電源をオンします。

ハイダウェイユニット(前面)



ハイダウェイユニット(背面)

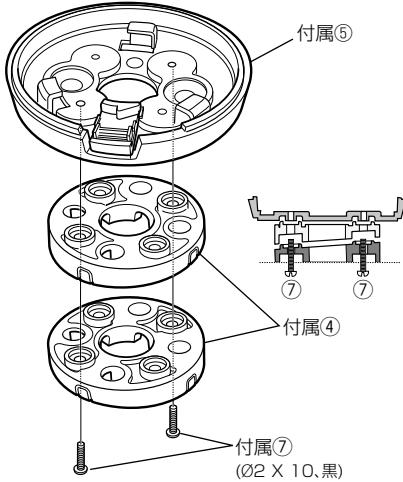


取り付け

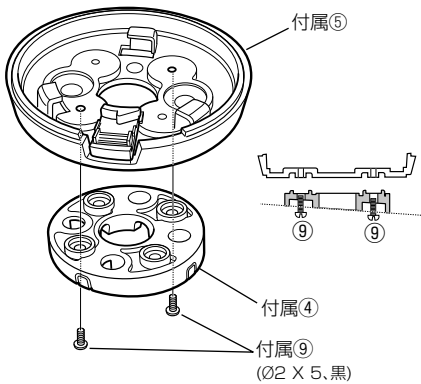
コントローラーの取り付け

- 1 コントローラーを取り付ける角度により、以下のよう
にスペンサー④をブラケット⑤に取り付けます。

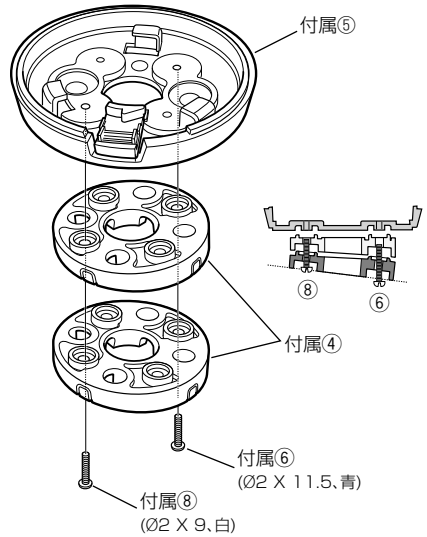
0度面に取り付ける場合



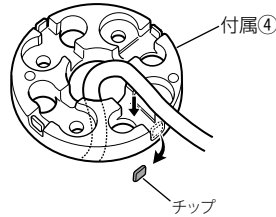
4度面に取り付ける場合



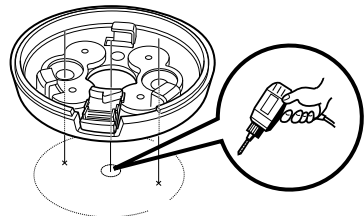
8度面に取り付ける場合



- スペンサー④を使用せずにブラケット⑤のみを直接取り付けることも可能です。
- 2 スペンサー④から、コントローラーのケーブル配線方向のチップを取り外します。

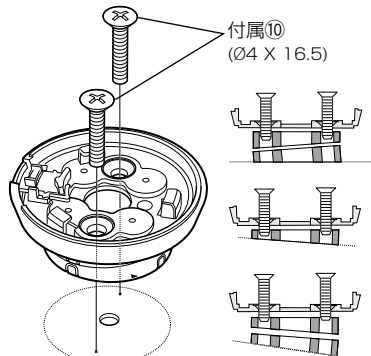


コントローラーのケーブルを配線する方向の、スペンサーのチップを割り取ります。
スペンサーを使用しない場合や、取り付け面の裏に配線する場合は、取り付け面に直径10mmの穴を開けます。

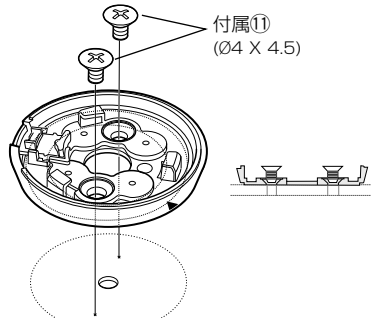


3 プラケット⑤を取り付けます。

スペーサー④を使用している場合

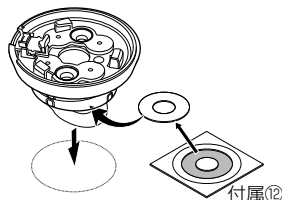


スペーサー④を使用していない場合

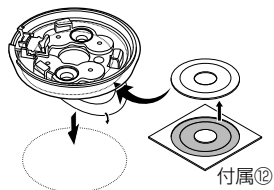


両面テープ⑫を使用しても取り付けられます。

スペーサー④を使用している場合

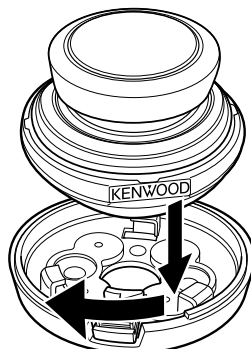


スペーサー④を使用していない場合

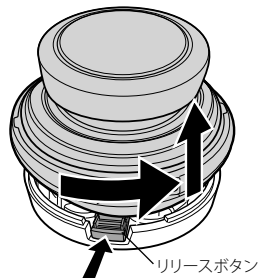


- 両面テープ⑫は貼り直したり、粘着部を指でさわったりしないでください。粘着力が弱くなります。
- 取り付け場所の表面温度が低いときは、暖房をかけるなどで温度を高くしてから貼り付けてください。温度が低いところでは粘着力が弱くなります。
- 取り付け場所は、中性洗剤をしみ込ませて固く絞った布でよく拭き、ゴミ・油分を取り除きます。また、取り付け場所が乾燥してから両面テープ⑫を貼り付けてください。
- 両面テープ⑫では確実な固定ができない場所へ取り付ける場合は、ネジ (付属⑩/⑪) を使って取り付けてください。

4 プラケット⑤にコントローラーを取り付けます。

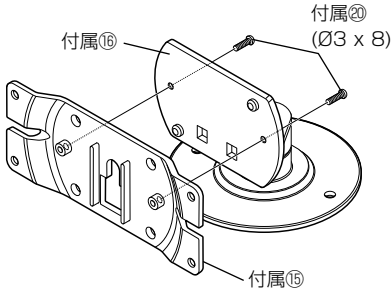


- プラケット⑤からコントローラーを取り外す場合は、リリースボタンを押しながら回します。

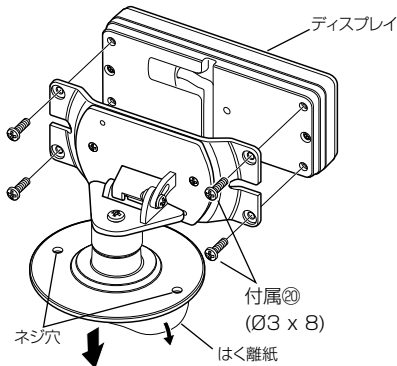


ディスプレイ取り付け スタンド使用一

- 1 ディスプレイブラケット⑮をディスプレイスタンド⑯に取り付けます。



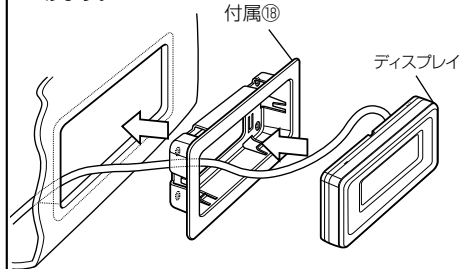
- 2 ディスプレイをディスプレイブラケット⑮に取り付けます。



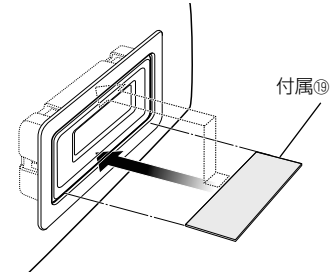
- 3 ディスプレイスタンド⑯のはく離紙をはがし、取り付け場所に貼り付けます。
両面テープでは確実な固定ができない場所へ取り付けの場合は、上図のネジ穴を使用してネジ止めをしてください。

ディスプレイ取り付け フレームを使用一

- 1 ディスプレイテンプレート⑰を使用して、ディスプレイを取り付ける位置に穴を開けます。
- 2 ディスプレイフレーム⑱を手順1で開けた穴に取り付けます。
- 3 ディスプレイをディスプレイフレーム(付属)に取り付けます。



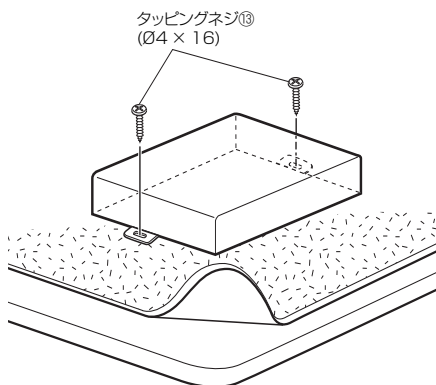
- ディスプレイをディスプレイフレーム⑱から取り外す場合は、リムーバルツール⑲を使用します。



ハイダウェイユニットの取り付け

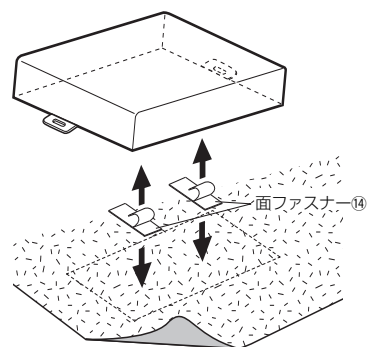
タッピングネジを使用して取り付ける場合

タッピングネジ^⑬を使用してオーディオボードなどにハイダウェイユニットを固定します。



面ファスナーを使用して取り付ける場合

面ファスナー^⑭を使用してハイダウェイユニットのそこに貼り、カーペットなどに貼り付けて固定します。



仕様一覧

FMモジュレータ部

周波数 ((200kHzステップ)
: 87.9/ 88.1/ 88.3/ 88.5/ 88.7/ 88.9/
89.1/ 89.3/ 89.5/ 89.7/ 89.9 MHz

USB I/F部

USB規格
: USB 1.1/2.0
ファイルシステム
: FAT16/32
最大供給電流
: 500 mA
MP3デコード
: MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
WMAデコード
: Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード
: AAC-LC 形式 “.m4a” ファイル
WAVデコード
: Linear-PCM

AUX入力

周波数特性
: 20 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
最大入力電圧
: 1200 mV
入カインピーダンス
: 47 kΩ

ライン出力

最大出力電圧
: 1200 mV
出カインピーダンス
: ≤ 600 Ω
周波数特性
: 20 ~ 20 kHz

その他の端子

入力
: KAB-BUS I/F

電源部

電源電圧
: 14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流
: 1.0 A

寸法・質量

寸法 (W × H × D)
ハイダウェイユニット: 156 x 31 x 95 mm
リモートコントローラー: 60 x 44 x 67 mm
ディスプレイユニット: 100 x 41 x 19 mm
質量 (重さ)
ハイダウェイユニット: 530 g
リモートコントローラー: 81 g
ディスプレイユニット: 171 g
ケーブル長
ハイダウェイユニット: 2.5 m
リモートコントローラー: 2.0 m
ディスプレイユニット: 3.0 m

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? 故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は ...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は ...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店がお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	☎ 007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23 ☎ (011) 743-7740

東北		
仙台サービスセンター	☎ 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル1F) ☎ (022) 288-3538

関東・信越		
さいたまサービスセンター	☎ 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F) ☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	☎ 277-0081	柏市富里1-2-1 ☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	☎ 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2 ☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	☎ 950-0923	新潟市中央区姥ヶ山1-5-37 ☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター	☎ 153-0042	目黒区青葉台3-17-9

(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。

中部・甲州		
名古屋サービスセンター	☎ 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11 ☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	☎ 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1 ☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 920-0036	金沢市元菊町21-87 ☎ (076) 265-5045

近畿・四国		
大阪サービスセンター	☎ 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22 ☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	☎ 760-0068	高松市松島町3-1 ☎ (087) 835-2413

中国		
広島サービスセンター	☎ 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23 ☎ (082) 832-2210

九州		
福岡サービスセンター	☎ 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F ☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎ 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F) ☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	☎ 901-2101	浦添市西原4-36-17 (株) 物流2F) ☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日とは休ませていただきます)

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。